

# 乗鞍岳(3026m):『日本百名山』総仕上げ

齊藤 整紀

●2018年9月29日(土)~30日(日)

●メンバー 齊藤整紀(GL)、松田福男、太田勲、  
岩田芳子、村山隆、小島千恵子、谷野睦子、寺西女史  
(敬称略)

●始めに

私の百名山の仕上げは、9月末乗鞍岳と年初に決め、早々に銀嶺荘宿泊を予約した。盟友村山氏と朋友松田氏には、その旨伝えてあった。いよいよプラン提示の段階に入り、目白山岳会からは太田氏と岩田氏、松田氏ルートの2名を加え、合計8名の編成となった。

99座目の飯豊が3度の日程リブレースを経ての登頂で2週間前に辛くも段取りが出来た。しかし今回も、台風24号接近で実施が危ぶまれたが、早めの登頂、早めの下山に、計画修正して実施に踏み切った。

●コースタイム

9月29日(土) 雨時々曇り

新宿駅(あずさ①)7:00⇒9:42 松本駅(タクシー)10:00  
⇒12:00 畳平・銀嶺荘(昼食)12:40⇒肩ノ小屋→剣ヶ峰  
14:00~20→15:30 畳平・銀嶺荘(泊)

どんよりと曇り、いつ降ってもおかしくない状況下、8名全員「あずさ1号」に集合、新宿駅7時に出発した。車窓から、雲に覆われた山々を眺めながら進むうち、松本駅に近づく頃、遂に雨が落ちてきた。

事前のタクシー会社照会では、松本から畳平まで、タクシー1台14,000円、つまり4人乗り一人当たり公共乗物と同じ3,500円とのことであったため、2台に分乗した。ところが実際は雨天ノロノロ、1台22,000円程で、皆に迷惑を掛けてしまった。しかし、時間的には50分短縮できたお蔭で、荷物を宿に預け、宿で暖かい昼食を摂ることができ、大いに助かった。

雨で風はなく、展望もない。お花畑経由で、少し下ってから上り返す近道のルートを探った。梯子を昇って広い道に出ると、肩ノ小屋まで幅広い道が続く。気象観測所の分岐まで来ると、ガスが上がり、前方、まっすぐに伸びた稜線の先に剣ヶ峰が望まれる。

肩の小屋への下りでは、眼下に乗鞍高原からのエコ

ーラインの車道が見え、登山道も確認できる。当初、この道から歩いて7時間かけて上る計画もあった。

肩ノ小屋からの僅かな急登を経て、頂上小屋に至る。台風襲来に備え、小屋仕舞の支度中である。今日の剣ヶ峰山頂からは、残念ながらアルプスの展望はない。剣ヶ峰の乗鞍本宮の社の屋根の下で記念写真を撮った。松田氏が桃太郎旗に「祝 齊藤整紀さん百名山達成2018年9月29日乗鞍岳」と記してくれた。

下山途中、幸運にも雷鳥に出会った。少し冬毛が入っている。銀嶺荘は30名の満室予約のところ、急な台風でキャンセル続出、結局、我々8名のみとなり、返って、宴会はやり易く、松田氏の幟旗と、太田氏のキャップとTシャツのサプライズのお蔭で盛り上った。



雷鳥に出会った

乗鞍本宮の社の屋根の下



9月30日(日) 曇り時々雨

畳平・銀嶺荘(シャトルバス)7:10⇒乗鞍高原観光センター(バス)9:30⇒新島々駅(電車)⇒松本駅(あずさ②)12:00⇒14:42 新宿駅

台風接近で、帰京不能を恐れ、朝食前の7時10分発のバスに乗った。時折、日の差す紅葉風景を楽しみながら、バスで下ったが、山は大きい!乗鞍高原観光センター、新島々と乗継ぎ、松本駅発12時のあずさで帰京。この特急は、指定席は満員ながら自由席は余裕があった。台風にも拘わらず参加してくれた気心の知れた仲間の、各々の気遣いが嬉しかった。(了)